

# 卒業研究(空間デザインコース)

必修

開講年次：4年次通年

科目区分：演習

単 位：6単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：卒業研究はデザイン学部のカリキュラム中で最大・最重要の科目であり、4年間の学部教育の集大成として位置づけられている。デザイン総合実習I・II・IIIをはじめ、空間デザインコース関連の展開科目・発展科目で培った建築計画、建築意匠、建築史、建築環境・設備計画、都市計画、都市景観・ランドスケープデザイン、環境保全学などから各自の研究テーマを具体的に設定する。また、個々の研究指導教員の指導を受けながら1年間考究を行い、論文及び作品としてまとめるとともに、その研究成果を学内で発表・展示する。研究では札幌市をはじめ、具体的な都市、地域、地区を対象とし、対象地の有する歴史・風土・経済社会環境・人的資源・文化・物理的要素等を詳細に把握して、空間の計画や設計の方針の基礎とする。

■**到達目標**：①空間デザインに係る研究課題を発見し、研究計画書を作成することができる  
②研究計画書に基づき、研究を推進することができる  
③研究の成果を論文および作品としてまとめ、発表することができる  
④空間デザイナー、空間プランナーとしての素養や倫理観を持つことができる

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎中原 宏・羽深 久夫・矢部 和夫・斉藤 雅也・片山 めぐみ・山田 良・金子 晋也

■**授業計画・内容**：

第1回	オリエンテーション・テーマの検討	第16回	分析
第2回	テーマの検討	第17回	分析
第3回	テーマの決定（研究企画書の作成）	第18回	分析
第4回	文献資料収集	第19回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第5回	文献資料収集	第20回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第6回	予備調査	第21回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第7回	予備調査	第22回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第8回	分析	第23回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第9回	分析	第24回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第10回	仮説の設定と研究フローの見直し	第25回	考察とまとめ（卒業論文の作成・作品制作）
第11回	本調査	第26回	最終発表
第12回	本調査	第27回	図録制作
第13回	本調査	第28回	展示準備
第14回	分析	第29回	展示準備
第15回	中間発表会	第30回	展示

■**教科書**：なし

■**参考文献**：適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：最終成果品の質（40%）はもとより、研究への取組み態度（20%）、研究・制作を進めていくプロセス（10%）、期限内にまとめる計画性（10%）、最終発表会の内容（20%）により、総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度	◎	○		積極的な取り組み姿勢	20
発表	○	◎	○	プレゼン能力と発表内容	20
課題・作品	○	◎	◎	論文・作品の充実度	40
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他	◎	○		プロセス・計画性	20

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習I・II・III、学部連携演習、空間デザインコース関連展開科目・発展科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：卒業研究は将来社会人として活躍するための訓練でもあります。これに真摯に取り組む、成就することにより、大きな達成感と自信を得ることができると同時に、人間力も高めることができます。